

課題

- デジタルアーカイブ構築に係る課題:分野横断型の統合ポータル構築に向けて、アーカイブ間の連携・横断の促進に係る諸課題の検討
- アーカイブの利活用促進に係る課題:コンテンツの利活用促進に向けて、コンテンツへのナビゲーションの整備、二次利用の促進に係る諸課題の検討

デジタルアーカイブ構築に係る課題

(1) 連携モデルについて

- ・目指すべき連携の方向性
- ・統合ポータル構築に向けた段階的整備
- ・メタデータの標準化に向けた整備

(2) 地方におけるデジタルアーカイブ構築と連携促進について

- ・地方におけるアーカイブ構築・連携の現状
- ・アーカイブ構築・連携促進のための支援策

デジタルアーカイブの利活用促進に係る課題

(1) メタデータ、サムネイル／プレビューの流通促進について

- ・メタデータのオープン化のルール、利用条件表示
- ・サムネイル／プレビューの利用

(2) デジタルコンテンツの拡充と利活用促進について

- ・デジタルコンテンツ拡充のための取組
- ・デジタルコンテンツの利用条件表示

(3) 利活用事例の共有・検討について

- ・利活用に関する事例共有(メタデータ、デジタルコンテンツ等)と必要な取組

その他

- ・その他の情報共有(デジタルアーカイブの利活用促進のための制度整備等)
- ・本協議会で示す方向性の普及策
- ・アーカイブ構築・連携促進のための人材育成 など

平成28年度の実務者協議会の方針と進め方

方針

- 平成27年度に整理したデジタルアーカイブ構築に係る課題(地方における課題を含む連携モデルの検討等)と利活用促進に係る課題(メタデータ、サムネイル／プレビューの流通促進等)について、有効な事例の共有化を図りつつ、より具体的な検討を進める。
- 我が国における「デジタルアーカイブ連携の方向性(案)」及び、「メタデータのオープン化等に関するガイドライン(案)」をとりまとめるとともに、それらの普及策を検討する。

進め方

前半(7月～11月頃に3回程度開催)

主な検討事項

- ・利活用に関する事例共有と必要な取組
- ・統合ポータル構築・連携の方向性
- ・地方におけるアーカイブ構築・連携の現状
- ・アーカイブ構築・連携促進のための支援策
- ・サムネイル／プレビューの利用
- ・デジタルコンテンツ拡充のための取組
- ・アーカイブ構築・連携促進のための人材育成

後半(12月～3月頃に2回程度開催)

主な検討事項

- ・メタデータの標準化に向けた整備
- ・メタデータのオープン化に向けた整備
- ・目指すべき連携の方向性
- ・本協議会で示す方向性の普及策
- ・次年度以降の進め方

現状と課題

- 「知財推進計画2015」に基づき、文化発展やコンテンツの国内外への発信の基盤となるデジタルアーカイブの構築とその利活用の促進を図るため、関係府省・実務者による「実務者協議会」を2015年度に設置し、実務的課題と対応策の検討体制を強化。
- 今後は、中小規模機関や地方を含めた分野・地方に応じたアーカイブ連携モデルと推進策の検討、コンテンツを解説・紹介するためのデジタルデータ(メタデータ、サムネイル/プレビュー)の利用条件等の運用面・制度面での整備等が必要。

取り組むべき施策

アーカイブ間の連携の促進

- 分野・地方両面からの連携推進策、地方における各機関等の協力推進策等を、実務者協議会等を通じ検討
- 国の分野横断統合ポータル構築(国立国会図書館サーチと文化遺産オンラインの連携)

分野ごとの取組の促進

- 各分野の束ね役(アグリゲーター)によるメタデータの集約化
- 書籍等: 公共・大学図書館等の連携支援、国立国会図書館資料のデジタル化の継続とデータの利活用促進
- 文化財: 日本遺産を構成する文化資源等のデータ集約や多言語化、全国の博物館・美術館等の連携促進
- メディア芸術: メディア芸術データベースの利活用促進
- 放送コンテンツ: 教育目的や遠隔地でのコンテンツ利用促進

アーカイブ利活用に向けた基盤整備

- メタデータのオープン化、サムネイル/プレビューの利用条件等の課題と対応策を、実務者協議会等を通じ検討
- アーカイブ機関による解説・紹介のためのデジタルデータの利用を可能とする著作権制度の検討と必要な対応

【メタデータの流れと望ましい利活用イメージ】

